



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

# 明生リハビリテーション病院

MEISEI REHABILITATION HOSPITAL



# 回復期リハビリテーション病棟とは

当院は回復期リハビリテーション病院です。回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患や骨折などの病気で急性期にて治療を受け、回復能力が高いと言われている時期の患者さまに集中的なリハビリテーションを行う病棟です。当院では、医師、看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士などがチームを組み、患者さま一人一人に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、社会や家庭への復帰や寝たきりの防止を目的としたリハビリテーションの提供をさせていただきます。



# 当院リハビリテーションの役割

障害を受けた者を彼のなしうる最大の

身体的

精神的

社会的

職業的

経済的

な能力を有するまでに回復させること



# 基本理念

「手には技術 頭には知識 患者様には愛を」

当院では、リハビリテーションの役割として、「障害を受けた人をその人のなしうる最大の

1. 身体的 2. 精神的 3. 社会的 4. 職業的 5. 経済的

な能力を有するまでに回復させることである」を目標に掲げ、  
各専門職と連携をとり、患者様の早期在宅復帰をサポートしていきます。

# 基本方針

## 1. 安心・安全な医療

学問的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

## 2. 回復期リハビリテーション医療

患者様・ご家族と医療情報を共有し、回復期リハビリテーション病院として入院から在宅まで一貫した、患者様のニーズに沿った安心できるチーム医療を提案します。

## 3. 地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携をとり、「寝たきりゼロ」、在宅復帰を目標に誰でも安心して利用できる、回復期リハビリテーション病院を目指します。

# 患者様の権利

## 1. 平等な治療を受ける権利があります。

患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されず、平等な治療を受ける権利を持っています。

## 2. 治療を自己決定できる権利があります。

患者様は、医師による明確で分かり易い言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利を持っています。

## 3. 情報を知る権利があります。

患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利、また、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。

## 4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。

患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。

## 5. 相談する権利があります。

患者様は十分な情報を得て、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。

## 6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。

患者様は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

# 院長あいさつ

令和5年4月、当院は一般社団法人巨樹の会から社会医療法人社団埼玉巨樹の会へ法人変更しました。

埼玉巨樹の会には新久喜総合病院(391床、急性期+回復期)、所沢美原総合病院(221床、急性期)、明生リハビリテーション病院(120床、回復期)の3つの医療機関が所属します。

所沢美原総合病院は所沢明生病院と狭山病院が増床合併し令和5年11月25日に「24時間365日断らない救急医療」をモットーにスタートした新病院です。

当院は回復期専門の病院として所沢美原総合病院と連携し、埼玉西部医療圏の地域医療に貢献してゆく所存です。当院でリハビリテーションを受けた患者様が当院に入院して良かったと思って下さるような医療を提供してゆきたいと考えています。

そのためには、まず当院の240名の職員が明るく元気に勤務できることが必要で、職場環境を整備し、より良い病院になれるよう頑張っています。

今後ともよろしくご挨拶申し上げます。



院長 柳田 茂樹

## 院長経歴

昭和59年 防衛医科大学卒業  
横須賀病院 副院長  
舞鶴病院 院長  
海上幕僚監部首席衛生官  
横須賀病院 院長  
自衛隊中央病院 副院長  
平成30年 明生リハビリテーション病院 院長

## 診療科目

リハビリテーション科

## 許可病床

120床

## 病院概要

【設立】平成21年8月 【延床面積】5,565㎡

## 病院施設基準

当院は、厚生労働省の定める基準を満たしている保健医療機関です。  
以下の施設基準を関東信越厚生局に届け出ております。

### 【基本診療】

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1
- 療養病棟療養環境加算1
- 体制強化加算1
- 入退院支援加算1
- 認知症ケア加算2
- データ提出加算1
- 医療安全対策加算2
- 二次性骨折予防継続管理料2

### 【特掲診療科】

- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

### 【その他】

- 特別の療養環境の提供
- 入院時食事療養(Ⅰ)
- 入院時生活療養(Ⅰ)

# 患者さん中心の「チーム医療」

## One team with patient

当院では、各病棟において9職種が患者さんご家族を支えます。

各スペシャリストが「リハビリテーションだけ」「治療だけ」ではなく、患者さんのニーズに沿って入院検討中から在宅復帰・社会復帰を実現するまで、段階に合わせて適切なサポートを行います。退院後、社会や家庭復帰に備えて、各種手続きや情報共有などの支援を行える環境が整っています。



ソーシャルワーカー



医師



看護師



理学療法士(PT)

## チーム医療



看護補助者



作業療法士(OT)



薬剤師



言語聴覚士(ST)



管理栄養士

## 在宅復帰へ向けたサポート



### 【月に一度の面談】

入院時の面談以外に、月に一度患者さんご家族、スタッフ(医師、看護師、療法士、ソーシャルワーカー)が集まって

面談を行っているのも特徴の一つ。治療計画や状態をしっかりとご説明し、進み具合や方向性、目標を確認し、在宅復帰に向けて話し合いを行っています。



### 【カンファレンス】

1日も早く快適な日常生活を送れるよう、医師、看護師をはじめ、各分野の専門家がチーム体制を組み患者さんを

全員で支えます。スタッフ間でのカンファレンスを密に行い、日々の細やかな変化にもいち早く気づき対応、情報共有することで、安全かつ早期の回復へとつながります。

# 地域医療連携室

ご紹介いただいた患者さんへの対応や医療・福祉施設への転院調整、在宅医療・福祉サービス提供者との連携をとり退院調整等をおこなっています。

入院中にお困りのこと、今後の在宅生活・転院について、医療保険制度、介護保険制度、障害者福祉制度など各種制度についても担当のソーシャルワーカーへお気軽にご質問ください。

## 回復期リハビリテーション病棟の対象患者

	対 象 疾 患	入院期間
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
②	多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90日
③	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60日
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日
⑥	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90日

# 入院までの流れ

お電話にて入院相談を伺います。

●病院代表電話

TEL

04-2929-2220

担当：地域医療連携室

病院間による相談

入院先の医師又は医療ソーシャルワーカーからの情報をもとにリハビリテーションの必要性を医学的に検討いたします。

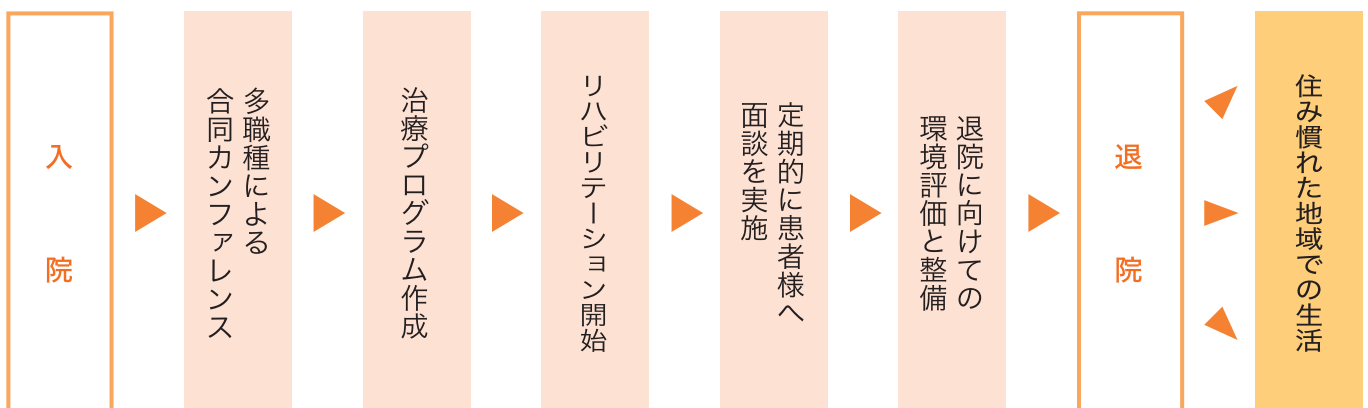
ご家族面談

入院日調整

入院

※その他、ご家族からの入院についてのお問い合わせは地域医療連携室にご相談下さい。

# 入院診療の流れ



必要に応じて通院・在宅でのリハビリテーションも継続します。



# 患者様1日の生活スケジュール

時間	1日の流れ	関わり内容
 7:00	起床	モーニングケア
	朝食 	食事・更衣・整容・排泄など
 9:00	離床活動・体操など	個別リハビリ
 12:00	昼食 	昼のかかわり
 13:00	離床活動・体操など	個別リハビリ
 18:00	夕食 	イブニングケア
		食事・更衣・整容・排泄など
 22:00	消灯	

# 看護部

## 看護部紹介

私たちは、「寝たきりゼロ」、在宅復帰を目標にリハビリテーション科と一体になり、病棟での日常生活に合わせ、「生活リハビリ」を看護の立場で行っています。

入院当初より、患者様・ご家族の方と話し合いをしながら、必要な日常生活動作の獲得に向けリハビリが実施できるよう、心身の状態を最良に整える為の看護を行います。患者様が回復され、「この病院に入院してよかった」と笑顔でご自宅に戻っていかれるよう看護を行います。



### 看護部理念

「確かな知識と技術、豊かな感性を育む」

### 看護部方針

- 患者様に適した根拠ある正確かつ安全な看護を提供します。
- 専門職として自律した専門性を追求した看護師を目指します。
- 「ホスピタリティ」(思いやり・心のおもてなし)の心をもち看護を提供します。
- 職員として地域に根づいた、愛される病院を目指します。

### 教育理念

人を育て、活かす場づくり

## 回復期リハビリテーション看護の特徴

看護職は、24時間365日患者様のすぐそばにいる存在として様々な情報を得てチーム医療を円滑に進める役割を果たしています。

### ○多職種合同カンファレンス

- 多職種から編成されるチームで合同カンファレンスを行い、患者様一人ひとりのリハビリテーションプログラムが作成されます。
- 月に一度、患者様・ご家族を含めた面談を行い、退院に向けた意思決定の支援を致します。

### ○日常生活を通したリハビリ支援

- できることを引き出す日常生活援助（食事・排泄・入浴・更衣・整容など）
- 入院生活を楽しく過ごすレクリエーション

### ○安心・安全な入院環境作り

患者様が安心・安全にリハビリテーションに取り組むことが出来るような入院環境作りを目指しています。

#### 医療安全 チーム

- 多職種による医療安全ラウンド
- 全職員への医療安全研修
- 医療安全週間の取り組み

#### 感染対策 チーム

- 多職種、チームによる感染対策への取り組み
- 全職員を対象とした感染勉強会
- 多職種による院内ラウンド





## 理学療法とは

怪我や病気、加齢などによって運動機能が低下した方に運動による治療や温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いて基本的動作能力の回復を図る治療法のことです。

寝返り・起き上がり、座る・立ち上がる・歩行などの基本的動作や着替え・食事、外出などの日常生活動作の改善を図り、最終的にはQOL(生活の質)の向上を図ります。また、地域に住む方々が病気や障害があっても今までと変わらず住み慣れた街で、自分らしく暮らしたいという患者さんの思いを大切にします。介護や医療、さらには生活支援の方と協力し、安心して生活できる環境を目指します。



### 1Fリハビリテーション室

広いスペースで、歩行訓練や筋力トレーニングが可能です。様々な疾患に合わせて、物理療法機器を使用し訓練を進めていきます。



### 自主トレーニング指導

個々の状態に合わせた内容を理学療法士が計画し提供します。



### 基本動作訓練

椅子からの立ち上がりや歩行など日常生活に必要な動作を練習します。個々の身体状況に合わせて行い、徐々に難易度を上げていきます。訓練が進むにつれて、日常生活での動作に応用できるよう指導します。





## 作業療法とは

身体や精神に障害のある方、病気や怪我などで身体が動きにくくなった方、気持ちの落ち込みや不安のある方に対して、作業活動を通して日常動作(食事・整容・更衣・排泄・入浴など)で困らないようサポートしていきます。

訓練では、レクリエーション(ゲーム・体操・スポーツなど)や創作活動(手芸・調理など)もリハビリテーションの手段として用いて、快適に自分らしく生きていけるようサポートをします。さらに社会復帰に向けた職前訓練も行っています。



### 買い物・調理・ 外出訓練

買い物、料理、洗濯、外出、公共交通機関の利用など一人ひとりの生活スタイルに応じて提案、実施しています



### 日常生活動作 (ADL)訓練

食事、整容、更衣、排泄、入浴など身の回りの動作の自立を目指します



### 福祉用具

安全に自立した生活を継続できるような福祉用具の提案をします



### 機能訓練・自助具

麻痺などにより機能を失った動作の再獲得を目指します



### 家屋調査

在宅復帰に向けて専門職による環境調整・確認を行います





### 言語聴覚療法とは

怪我や病気、加齢が原因でコミュニケーション(言語、聴覚、発声、発音、認知)や、食べることが(摂食嚥下(せつしょくえんげ))不自由になることがあります。

言語聴覚士は医師や歯科医師の指示のもと、こうした障害の状態を明確にするために検査や評価を実施します。そして、その方が状態に応じてリハビリテーションや助言などの支援を行います。コミュニケーション障害や摂食嚥下障害は表面的には見えづらい不自由さが生じます。その方々の生活背景や心理面に配慮して、個別性と人間味のある温かいリハビリテーションを提供します。



高次脳機能検査キット



ST室(言語聴覚療法専用の個室)





### 摂食・嚥下障害に対する支援

必要に応じて詳細な検査を医師や歯科医師が行い、安全に食事ができるよう支援します



### コミュニケーション障害に対する支援

患者さんの状態に配慮して利用できるST室(7部屋)があり、コミュニケーションボードやパソコン操作など、コミュニケーション能力に対するリハビリを介入しています。また、他者との交流の機会も大切に考え、デイルームでのリハビリも提供しています。

## 退院後のリハビリフォロー体制



利用者様のご自宅に、理学療法士、言語聴覚士等のリハビリテーション専門職が訪問し、心身機能の維持・回復、日常生活の自立や社会参加を支援致します。また、安心、安全にその人らしい在宅生活が継続できるように支援致します。

### リハビリの内容

- 歩行、食事、トイレ、入浴などの日常生活動作の練習
- 炊事、洗濯、掃除等の家事動作の練習
- 外出の練習
- 言語訓練・嚥下訓練・コミュニケーション訓練
- 趣味活動の獲得
- 自主トレーニングの指導・アドバイス
- 介助方法の検討、指導
- 住宅改修（手すり、段差解消など）や装具作成等のアドバイス
- その他、様々な生活上の困難に対するアプローチ

# 栄養科

## 栄養科について

管理栄養士は、リハビリテーションプロセスの一環として患者様の栄養状態を管理し、回復を支援します。栄養評価の結果や個々のニーズに合わせた食事プランを提案し、リハビリテーションに最適な栄養を提供します。また、食事内容の説明や栄養教育を通じて、患者様が健康な食生活を取り戻すお手伝いをします。

患者様の健康回復と生活の質の向上に向けて、他職種と連携しながら栄養のスペシャリストが対応いたします。

## 行事食の提供

月に一度、普段とは異なる特別な食事を提供しております。長期にわたる入院生活の楽しみのひとつになるよう、旬の食材や季節のイベントに応じたメニューとなっております。



●夏のお楽しみ中華



●ハロウィン



●秋のお楽しみ御膳



●クリスマス

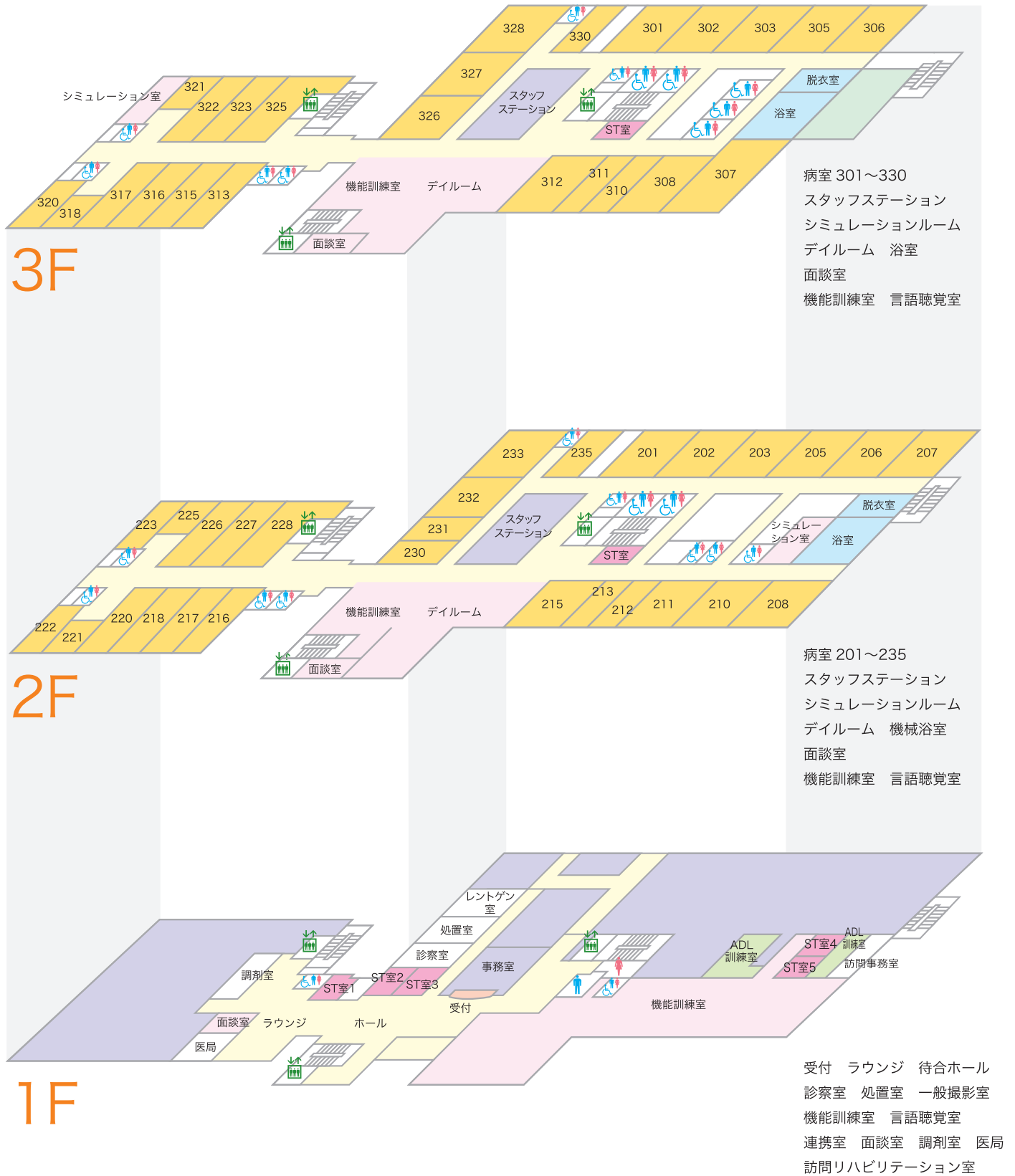
## 快適な入院環境



当院は個室(1人部屋:25室・2人部屋:6室)、大部屋(3人部屋:1室・4人部屋:20室)の計62室ございます。

その他に、リハビリ室・ラウンジ・デイルーム・大浴場・給茶機等の環境設備も整っております。病室は木目調でシックな病室もあり、患者様が入院中過ごしやすいようあたたかみのあるくつろげる空間となっております。リハビリ室では患者様が訓練をおこないやすい環境となっており、デイルームでは食事や体操、レクリエーションを行い、ご家族との語らいや憩いの場としてゆったりお過ごしいただけます。また、明るく差し込む陽に包まれ、気持ちを優しく落ち着かせてくれます。

# 院内のご案内



# 関連病院一覧



1  
一般社団法人 巨樹の会(回復期)  
**八千代リハビリテーション病院**  
〒276-0015 千葉県八千代市米本1809番地  
TEL:047-488-1555 / FAX:047-488-1552  
www.yachiyo-reha.com



2  
一般社団法人 巨樹の会(急性期・回復期)  
**新上三川病院**  
〒329-0611 栃木県河内郡上三川町三川2360番地  
TEL:0285-56-7111 / FAX:0285-56-7165  
www.kaminokawa-hp.jp



3  
一般社団法人 巨樹の会(回復期)  
**宇都宮リハビリテーション病院**  
〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43番2号  
TEL:0286-662-6789 / FAX:0286-660-1041  
www.utsunomiya-rh.jp



4  
社会医療法人社団 埼玉巨樹の会(回復期)  
**明生リハビリテーション病院**  
〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4丁目2681番2号  
TEL:04-2929-2220 / FAX:04-2939-2136  
www.meisei-reha.jp



5  
医療法人社団 銀緑会(回復期)  
**みどり野リハビリテーション病院**  
〒242-0007 神奈川県大和市中央林間2丁目6番17号  
TEL:046-271-1221 / FAX:046-271-1220  
www.midorino-hp.jp



6  
医療法人社団 巨樹の会(回復期)  
**蒲田リハビリテーション病院**  
〒143-0015 東京都大田区大森西4丁目14番5号  
TEL:03-5767-7100 / FAX:03-5767-7107  
www.kamata-rh.net



7  
医療法人社団 巨樹の会(回復期)  
**小金井リハビリテーション病院**  
〒184-0013 東京都小金井市前原1丁目3番2号  
TEL:042-316-3561 / FAX:042-316-3562  
www.koganei-rh.net



8  
医療法人社団 巨樹の会(回復期)  
**赤羽リハビリテーション病院**  
〒115-0055 東京都北区赤羽西6丁目37番12号  
TEL:03-5993-5777 / FAX:03-5993-5778  
www.akabane-rh.jp



9  
一般社団法人 巨樹の会(回復期)  
**松戸リハビリテーション病院**  
〒270-2232 千葉県松戸市和名ヶ台1009番地の1  
TEL:047-703-1555 / FAX:047-703-1556  
www.matsudo-reha.com



10  
一般社団法人 巨樹の会(回復期)  
**千葉みなとリハビリテーション病院**  
〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央1丁目17番18号  
TEL:043-245-1555 / FAX:043-245-1558  
www.minato-reha.com



11  
医療法人社団 巨樹の会(回復期)  
**原宿リハビリテーション病院**  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6丁目26番5号  
TEL:03-3486-8333 / FAX:03-3486-8334  
www.harajuku-reha.com



12  
医療法人社団 巨樹の会(回復期)  
**五反田リハビリテーション病院**  
〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目9番20号  
TEL:03-3779-8820 / FAX:03-3779-8823  
www.gotanda-reha.com



13  
社会医療法人社団 埼玉巨樹の会(急性期・回復期)  
**新久喜総合病院**  
〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1  
TEL:0480-26-0033 / FAX:0480-44-8026  
www.shinkuji-hp.jp



14  
医療法人社団 巨樹の会(回復期)  
**江東リハビリテーション病院**  
〒136-0073 東京都江東区北砂2丁目15-15  
TEL:03-6880-1555 / FAX:03-6880-1556  
www.koto-reha.com



15  
社会医療法人社団 東京巨樹の会(急性期・回復期・緩和ケア)  
**東京品川病院**  
〒140-8522 東京都品川区東大井6丁目3番22号  
TEL:03-3764-0511 / FAX:03-3764-3415  
tokyo-shinagawa.jp



16  
一般社団法人 巨樹の会(回復期)  
**新宇都宮リハビリテーション病院**  
〒321-0941 栃木県宇都宮市東今袋2丁目5番地31号  
TEL:028-666-4880 / FAX:028-666-4887  
shin-utsunomiya.jp



17  
社会医療法人社団 埼玉巨樹の会(高度急性期・急性期)  
**所沢美原総合病院**  
〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3  
TEL:04-2997-8199 / FAX:04-2997-8196  
tmgh.jp/mihara/



最寄駅 ●西武池袋線「狭山ヶ丘駅」東口を出て、徒歩15分 ●タクシーをご利用される場合、西武池袋線「小手指駅」北口より約5分



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

## 明生リハビリテーション病院

〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4-2681-2

TEL:04-2929-2220 / FAX:04-2939-2136 / E-mail: info@meisei-reha.jp



<http://www.meisei-reha.jp/>